

戦前ドイツから今後の展望

名城大学 都市情報学部

180781084 杉山大輝

第1章 第二次世界大戦とドイツ

第1節：ナチス・ドイツの成立

第2節：第二次世界大戦と

連合国への降伏

第3節：非ナチ化とドイツ占領政策

第2章 占領下のドイツ

第1節：ソ連によるドイツ占領

第2節：西ドイツと東ドイツ

第3節：ベルリンの壁成立と

東西ドイツへの分裂

第3章 東西ドイツの統一

第1節：東西の国民の生活と

政権交代へ

第2節：経済の安定

第3節：東西ドイツの緊密化と

体制の崩壊

第4章 国際社会の中のドイツ

第1節：再統一への道のり

第2節：ユダヤ人問題

第3節：EUの盟主へ

初めに 現在のドイツについて



ドイツ旗 - Bing images

人口 約8315万人

国土面積 35.7万平方キロメートル

首都 ベルリン

主要民族 ゲルマン系を主体とする
ドイツ民族

公用語 ドイツ語

ドイツ地図



第1章 第二次世界大戦とドイツ

第1節：ナチス・ドイツの成立

ヴェルサイユ条約

領土の13%(西プロイセン、ザール地方など)、700万人余りの人口を喪失

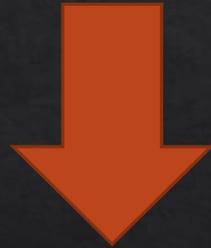
連合国、国際連盟の
管理下

賠償金 1320億マルク



ナチ党の台頭

領土の一部喪失
巨額の賠償金支払い
全戦争責任 ドイツ



ナチ党はヒトラーを筆頭
苦境の原因としてユダヤ人と政府批判

第2節：第二次世界大戦と 連合国への降伏

1939年9月1日 ポーランド侵攻を機に開戦

1940年6月 パリに侵攻

1941年6月22日 独ソ不可侵条約を破棄
ソ連に侵攻

1943年2月 スターリングラードで敗北

1943年5月 北アフリカ戦線で敗北

1944年6月 ノルマンディーに連合軍上陸

1945年3月 ドイツ本土進攻

1945年5月7日 連合軍に降伏

1945年 11月20日 ニュルンベルク裁判

a) 共同の計画もしくは共同謀議への関与

b) 平和に対する罪

c) 戦争犯罪

d) 人道に対する罪



主要犯罪人

22人中19人有罪、
3人無罪

第3節：非・ナチ化とドイツ占領政策

公職追放により旧ナチ黨員
30万人以上が解職

西側

優秀な人材確保のため占領軍に協力的な人員は再登用

東側

徹底した非ナチ化実施
共産党や社会主義者が要職就任

ドイツ人の解放

旧ドイツ領、及び東部地域から

1200万人が追放

強制労働者、不当逮捕者、捕虜、

1100万人が帰国

ドイツ軍兵士捕虜500万人解放

旧ドイツ占領地区でのドイツ人

強制労働 栄養失調 病気

財産略奪または財産没収 暴行 迫害

第2章 占領下のドイツ

第1節: ソ連によるドイツ占領

社会主義統一党の成立

凶作、土地改革による農業経営の基盤崩壊

原材料や製品の徴収、工場の解体



食料品や生活用品の不足による
人々の困窮、経済危機

ソ連は東欧諸国に親ソ政権を構築



西側諸国への共産主義浸透を危惧

1947年6月6日

全ドイツ州相によるミュンヘン会議

交渉決裂



東西分裂

第2節：西ドイツと東ドイツ

1949年5月23日

西ドイツ・ボン基本法公布 西ドイツ建国

10月7日

東ドイツ憲法制定 東ドイツ建国

西ドイツ

ドイツ人全体ではなくナチスに責任

東ドイツ

東ドイツは以前のドイツとは違う新しい国

負の責任は皆無

西ドイツ初代大統領
コンラート・ヘルマン
ヨーゼフ・アデナウアー



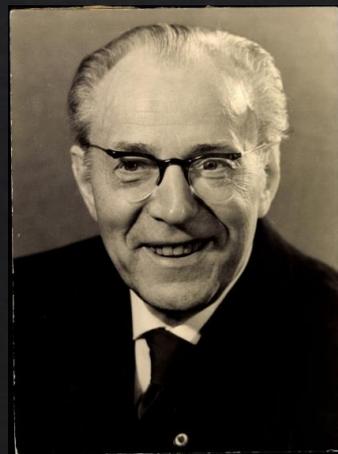
アデナウアー - Bing images

東ドイツ初代大統領
フリードリヒ・ヴィルヘルム
ラインホルト・ピーク



ヴィルヘルム ピーク - Bing images

東ドイツ初代首相
オットー・グローテヴォール



366328.jpg (426 × 580) (akpool.de)

第3節：ベルリンの壁成立と

東西ドイツへの分裂

1953年 六月十七日事件

首都ベルリンで抗議活動

その後全国にストライキやデモが波及

ソ連軍の出動による事態収束

人々の抵抗力抑止

食料品、生活用品、工業製品不足

物価の高騰



西側への逃亡加速

東ドイツはソ連が解放した東欧諸国と
交友関係を締結

対立が決定的

東西ドイツ間での通商協定が破棄される

1961年8月13日

西ベルリンと東ベルリンの境界線が突如遮断

東ドイツは西ドイツへの逃亡阻止を画策
退路、情報を遮断

凶作や大農場解体による
食料不足の悪化

ベルリンの壁建設

工業製品、日用品の不足



西側の遮断を画策
実際には西側による援助が不可欠



[ベルリンの壁 - Bing images](#)

第3章 東西ドイツの統一

第1節：東西の国民の生活と政権交代へ

1963年 新経済システムの導入
平均月収の増加・最低賃金の上昇
需要増加→供給不足

シュタージ

反対勢力から国民の日常生活の監視

西側への接近

ソ連→東ドイツ製品の要求→供給不足
→西側から輸入

ヴァルター・ウルブリヒト
西側との関係重視

エーリッヒ・ホーネッカー
ソ連との関係重視



解任

第2節：経済の安定
生活水準の向上
企業の国営化政策



中小企業が独自製品の
供給を停止



日用品の
供給不足深刻化

補助金

生活用品、暖房用燃料、衣服

公共交通機関の料金、家賃、光熱費

第3節：東西ドイツの緊密化と体制の崩壊

1972年12月21日 両独基本条約締結

国際連合への加盟

アメリカ・イギリス・フランスとの国交回復

東ドイツ

自動車産業と電子産業への固執

経済悪化

補助金の弊害

環境汚染

第4章 国際社会の中のドイツ

第1節：再統一への道のり

1989年 11月9日 ベルリンの壁崩壊

ギュンター・シャボウスキーの失言

人々の西側への逃亡加速

生産性の低下・輸出の減少



借款の返済困難

1990年6月21日 第一国家条約調印

東ドイツの経済通貨政策の主権



ドイツ連邦銀行・連邦共和国に委譲

7月1日 経済・通貨同盟発行
東ドイツに西ドイツ・マルク導入

7月15日 独ソ首脳会談

戦勝4カ国の権利消滅  ドイツの主権回復

1990年 10月3日 ドイツ再統一



<https://eumag.jp/behind/d1119/>

第2節:ユダヤ人問題

西ドイツ

ドイツ人の責任を自覚 → 保障に尽力

世界ユダヤ人会議からの条件

ユダヤ人への犯罪を認め補償

宗教的、人種的差別を禁止

法律の制定

ドイツ国内

ユダヤ人への保証は支持

42億マルクで保証額に関して懐疑的

イスラエル国内

反ドイツ

(ドイツ語の使用 ドイツ関連音楽の禁止)

1952年 9月10日 ルクセンブルク補償協定

原料、鉄鋼、機械、船舶などを年間2億

5000万マルクから3億マルク分購入

道路、鉄道、通信、電気、灌漑などの

インフラを整備

1965年 西ドイツとイスラエル間で国交樹立

第3節: EUの盟主へ

アンゲラ・メルケル

(首相 2005年-2021年12月)

1995年3月、COP(気候変動枠組み条約国会議)



<https://www3.nhk.or.jp/news/special/german-election-2017/angela-merkel/>

EUの東方拡大・企業の海外進出

2005年11月 メルケルが首相に就任

2009年 ユーロ危機

保証額5000億ユーロ(うちドイツ1500億ユーロ)

2015年9月

「我々はやれる!」

100万人の難民がドイツ国内に流入

1か月のうちにEU圏の難民の数→21万8000人

難民申請者による暴力事件

難民にテロリストが混在

今後の展望

難民受け入れ(EU内)

拒否

ハンガリー、ポーランド
イタリア、オーストリアなど

容認

ドイツ、トルコなど

難民受け入れ(ドイツ国内)

「反移民・難民」を訴える右翼政党

「ドイツのための選択肢：AfD」

ドイツ国内

未だに旧西ドイツと旧東ドイツの間で格差

難民流入に伴う犯罪の増加



難民の受け入れ数を大幅に
削減→国内の経済格差是正

Fin.